

# 総合的な学習の時間学習指導案

指導者 廿日市市立吉和小中学校

教諭 岡野里香

教諭 栗栖弘幸

- 1 日 時 平成 26 年 10 月 3 日（金） 2 校時
- 2 学 年 小学校 第 3 学年 1 人， 第 4 学年 0 人， 第 5 学年 1 人， 第 6 学年 2 人  
中学校 第 1 学年 0 人， 第 2 学年 1 人， 第 3 学年 1 人
- 3 場 所 小学 5・6 年教室
- 4 単元名 「福祉プロジェクト」（願いをもとにボランティア）グループ

## 5 単元について

### (1) 単元観

吉和地域は、廿日市市の中でも高齢化率が最も高く、現在の人口、723 人の内 48%が 65 歳以上の高齢者である。また、若年層の人口は極端な減少傾向にある。今年度、本校の児童生徒数は 37 人であり、その数は、吉和地域全体の約 5%にしか満たない。

本地域では、行政を中心にした福祉に対する取組も多く、ボランティア組織も結成されている。さらに、昨年度から「生涯暮らし続けられる吉和地域を考える」座談会が発足し、今年度からは「生涯暮らし続けられる吉和地域をつくる会」となり、福祉に対する取組や課題について協議されるようになった。地域の福祉を充実させる取組が進んでいる。地域住民の学校や児童生徒への期待も大きく、福祉への取組の一端を学校が担い、それを踏まえた児童生徒の育成が必要であると考えられる。

そこで、4 年前から社会福祉協議会吉和事務所と連携し、総合的な学習の時間を通して、福祉学習に取り組んでいる。児童生徒が「みんなが暮らしやすい町づくり」のために何が必要であるか、また、自分たちができることは何かを考え、実践している。これらのことから、本単元は地域と児童生徒の実態に即した単元と言える。

本グループは、高齢者へのボランティア活動を行う。「よしわせせらぎ園」と連携して、施設利用者の願いや思いを基に活動することを目指す。

### (2) 児童生徒観

吉和小・中学校の児童生徒は素直で明るく、与えられたことに対しては意欲的に取り組もうとする。地域には子どもを大切に育てていこうとする思いがあり、様々な活躍の場が用意され、児童・生徒は楽しみにしている。しかし、大人が用意した活動であり、児童生徒の主体的なものにはなり得ていないように感じる。

学校生活では、少人数で人間関係が固定化され、コミュニケーションも狭い人間関係での限られたものにとどまる場合が多い傾向にある。そのため、少人数にもかかわらず仲間に対する理解は十分とは言えず、集団としてのかかわりの希薄さを感じる。また、中学校卒業後の人間関係の作り方に不安を持つ生徒が多く、実際に高校入学後に適切な人間関係が作れず、悩みを訴える生徒もいる。

本グループの児童は、全体的に新たな人間関係を築くことが苦手である。また、昨年度の活動では、生徒に頼る場面が多く、主体性に課題が見られた。生徒は、比較的校内で下学年児童生徒と積極的にかかわることができている。また、地域の方々と自主的にかかわる姿もある。しかし、自他の考えを

生かす力は十分ではない。

また、学習に関して児童は、全体的に自分の考えを持つことができていない。また、生徒については話し合い活動等の場面で、出された意見や考えを整理することはできるが、それらを基に思考・判断する力に課題がある。

### (3) 指導観

本単元の指導にあたっては、地域の現状をよりの確に把握し、児童生徒が地域の課題を身近に感じることができるようにする。そのために、社会福祉協議会吉和支所と連携し、地域に所在する福祉関連機関やボランティア団体への訪問、インタビュー活動等を行い、地域の方々と積極的にかかわり、情報収集等を行うことができるようにする。そして、地域の方々との交流を通して、日頃の狭い人間関係では学ぶことのできない人生観や生き様を感じさせ、自己の生き方を見つめることへとつなげさせたい。

また、児童生徒がコミュニケーション能力等、よりよい人間関係を築く力を身に付け、それらの力を将来にわたって活用していく態度を育みたい。そのために、児童生徒を縦割りで4つのグループに編成し、より大人数の異年齢集団で学習をさせる。そして、活発な意見交流を図るとともに、上級生は下級生の、下級生は上級生の良さを発見したり、認め合ったりすることも重視し、課題解決をさせていく。

本グループでは、相手を明確にし、より深くかかわることができるようにするため2人で構成する小グループを4つ作り、それぞれの小グループで1人の高齢者とかかわらせていただきながら活動を進めさせる。また学習においては、自分たちがおこなったことを思考ツールを使って可視化させ整理・分析させる。そうすることで思考・判断する力を高めたい。そして、高齢者や自分たちのことを見つめ、自分の生き方につなげさせたい。

## 6 単元の概要

### (1) 単元の目標

- ・吉和地域の福祉について知り、課題解決のために考えたり実践したりして、よりよい吉和地域をつくらうとする態度を養う。
- ・主体的、協同的に学習し、探究的、実践的な学習態度を養う。

### (2) 単元で育てようとする資質や能力及び態度

#### 【学習方法に関すること】

- ア 適切に課題を設定する。(課題設定)
- イ 事実や情報、他の児童生徒の考えをもとに考える。(思考判断)
- ウ 相手や目的に応じて、適切に情報を収集する。(収集整理・分析)
- エ 相手や目的に応じて、工夫して表現する。(表現)

#### 【自分自身に関すること】

- オ 地域の人々や異年齢の児童生徒とのかかわりを通して、自他のよさを見つける。(自己理解)
- カ よりよい自分の生き方や将来の夢や希望について考える。(将来展望)

#### 【他者や社会との関わりに関すること】

- キ 異なる意見や他者の考えを受け入れる。(他者理解)
- ク 地域の人々や異年齢の児童生徒とかかわり、話したり聞いたりする等、コミュニケーションを図る。(他者理解)
- ケ 自他の考えのよさを生かして、協同的に課題を解決する。(協同)

(3) 単元で学ぶ内容

ア 吉和地域における福祉の現状

イ 吉和地域の高齢者や障害を持っている人々の生活や願い

ウ よりよい吉和地域をつくろうとしている人々の想いや取組

7 単元の評価規準

学年	学習方法	自分自身	他者や社会
小学3・4年	<p>①吉和の福祉について課題を見つける。 【(2)－ア, (3)－ア】</p> <p>②吉和の福祉を調べるために, どんな情報が必要か考える。 【(2)－イ・ウ】</p> <p>③思考ツールを使いながら, 自他の考えを整理・分析する。【(2)－イ】</p> <p>④相手や目的を意識して, 工夫して言葉等で表す。 【(2)－エ】</p>	<p>①吉和地域の親しみをもつ。 【(2)－オ・カ】</p> <p>②高齢者や障害者の立場に立って考え, 自分ができることを実践しようとしている。 【(2)－オ・カ】</p>	<p>①地域の方々と話したり, 話を聴いたりしている。 【(2)－キ・ク, (3)－イ・ウ】</p> <p>②互いの考えを知ることができる。 【(2)－ケ】</p>
小学5・6年	<p>⑤吉和の福祉について, 課題を設定する。 【(2)－ア, (3)－ア】</p> <p>⑥吉和の福祉の課題に応じて, 情報を収集する。 【(2)－ウ】</p> <p>⑦思考ツールを効果的に使いながら, 自他の考えを整理・分析する。【(2)－イ】</p> <p>⑧相手や目的に合わせて, わかりやすく表現する。 【(2)－エ】</p>	<p>③吉和地域に愛着をもち, 自分を見つめ, 考える。【(2)－オ】</p> <p>④高齢者や障害者の立場に立って考え, 行動する大切さに気付き, 自分ができることを実践しようとしている。 【(2)－オ・カ】</p>	<p>③他者の意見を聴き, 理解する。 【(2)－キ・ク, (3)－イ・ウ】</p> <p>④地域の方の話を聴き, 話すことができる。 【(2)－ケ】</p>
中学1年	<p>⑨吉和の福祉について適切に課題を設定する。 【(2)－ア, (3)－ア】</p> <p>⑩課題の事実や背景を把握し考える。【(2)－イ】</p> <p>⑪目的や意図に応じて, 手段を選択し, 情報収集する。【(2)－ウ】</p> <p>⑫思考ツールを効果的に使いながら, 自他の考えを整</p>	<p>⑤吉和の福祉と自らの生活のあり方を見直し, 実践する。 【(2)－オ】</p> <p>⑥自己の未来を考え, 夢や希望を持つ。 【(2)－カ】</p>	<p>⑤異なる意見や他者の考えを受け入れ, 尊重する。 【(2)－キ・ク, (3)－イ・ウ】</p> <p>⑥互いの特長を生かし, 協同で解決する。 【(2)－ケ】</p>

	<p>理・分析する。【(2)－イ】</p> <p>⑬目的や意図に応じて，表現する。【(2)－エ】</p>		
<p>中学2年</p>	<p>⑭吉和の福祉について，関心を高め，適切に課題を設定する。 【(2)－ア，(3)－ア】</p> <p>⑮問題の状況について事実や要因を理解し，自分の考えを持つ。【(2)－イ】</p> <p>⑯目的や意図に応じて，適切に情報収集する。 【(2)－ウ】</p> <p>⑰他者の考えを引き出しながら，自他の考えを整理・分析する。【(2)－ウ】</p> <p>⑱目的や意図に応じて工夫して表現する。【(2)－エ】</p>	<p>⑦吉和の福祉と自らの生活のあり方を見直し，日常的に実践する。 【(2)－オ】</p> <p>⑧自己の将来を考え，夢や希望を持ち，具体的に考える。【(2)－カ】</p>	<p>⑦異なる意見や他者の考えを受け入れ，尊重する。 【(2)－キ・ク，(3)－イ・ウ】</p> <p>⑧互いの特徴を生かし，意図的に協同して課題を解決する。 【(2)－ケ】</p>
<p>中学3年</p>	<p>⑲吉和の福祉について，興味，関心を持ち，習得している知識等を活用して，適切に課題を設定する。 【(2)－ア，(3)－ア】</p> <p>⑳吉和の福祉について，総合的に考える。 【(2)－イ】</p> <p>㉑主体的に情報を収集し，適切に選択して活用する。【(2)－ウ】</p> <p>㉒解決への見通しを立て，他者の考えを引き出しながら，自他の考えを整理・分析する。【(2)－ウ】</p> <p>㉓相手，目的・意図に応じて，適切に表現する。 【(2)－エ】</p>	<p>⑨地域と自分の人生や将来について具体的に考える。【(2)－カ】</p> <p>⑩自分の課題解決に向けて，計画的に見通しを持って探究活動ができる。【(2)－カ】</p>	<p>⑨仲間と協力して根気強く課題を追求し解決する。 【(2)－キ・ク，(3)－イ・ウ】</p> <p>⑩社会の中に生きる一員として，自分は何にすべきかを考え行動する。【(2)－ケ】</p>

8 指導と評価の計画（計 30 時間：本時 22/30）

過程	時数	学 習 活 動	評価規準及び 主な評価方法	
課題 の 設 定	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>○オリエンテーション                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・昨年度の学習をふり返る。</li> <li>・今年度の福祉プロジェクトの「ねらい」や学習内容を知る。</li> <li>・個人の希望課題を交流する。</li> <li>・「課題発見シート」を用いて交流を行う。</li> </ul> </li> <li>○課題設定                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分たちが気になっていることをカードに記入し整理する。</li> <li>・ゲストティーチャーからアドバイスを聞く。</li> <li>・課題を設定する。</li> </ul> </li> <li>○活動計画の立案                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・調査計画の立案・検討を行う。</li> </ul> </li> </ul>	学① 学⑤ 学⑨ 学⑭ 学⑰	行動観察  ワークシート  ふり返りカード
情報 の 収 集	8	<ul style="list-style-type: none"> <li>○訪問                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者と面会し、願い（困っていること）を聞く。</li> </ul> </li> <li>○提案を考える。                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・訪問したことをもとにボランティアの案を考え、準備する。</li> </ul> </li> <li>○提案提示（検証）                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ボランティアを実行する。</li> </ul> </li> </ul>	学② 学⑥ 学⑪ 学⑱ 学㉑ 他① 他④ 他⑤ 他⑦	行動観察  ワークシート  ふり返りカード
整理 分 析	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>○中間発表に向けた情報の整理と分析                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者の方々の感想を中心に、活動内容や自分たちのかかわり方について、振り返りをする。</li> </ul> </li> </ul>	学③ 学⑦ 学⑩ 学⑫ 学⑮ 学⑰ 学㉒ 他② 他③ 他⑥ 他⑧ 他⑨	行動観察 ワークシート ふり返りカード
ま と め ・ 表 現	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>○成果と課題を整理し、模造紙やパワーポイントでまとめる。</li> <li>○発表                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・まとめたものを他のグループの人々に発表する。</li> <li>・ゲストティーチャーからアドバイスを聞く。</li> </ul> </li> </ul>	学④ 学⑧ 学⑬ 学⑱ 学㉓ 自① 自③ 自⑤	行動観察  作成した資料  ふり返りカード

			自⑦ 自⑨	
課題設定	1 (本時)	○中間発表を受けて、これまでの活動を整理し、今後の活動をまとめる。 ・今後の活動計画を考える。 ・改善策をもとにまとめる内容を考える。	学① 学⑤ 学⑨ 学⑭ 学⑰	行動観察 ワークシート ふり返しカード
情報の収集	1	○訪問をし、ボランティアを実施する。 ・改善した点を中心に、しっかりと行動する。 ・高齢者の方々の表情や動き等をよく観察し、高齢者の方々の気持ちを察する。	学② 学⑥ 学⑪ 学⑯ 学㉑ 他① 他④ 他⑤ 他⑦	行動観察 ふり返しカード
整理分析	5	○訪問したことを検証する。 ・訪問した際の高齢者の感想等をもとに、活動を整理分析する。 ・他のグループの発表方法を基に、発表の仕方等を修正する。	学③ 学⑦ 学⑩ 学⑫ 学⑮ 学⑰ 学㉒ 他② 他③ 他⑥ 他⑧ 他⑨	行動観察 ワークシート ふり返しカード
まとめ・表現	2	○検証したことを発表する。 ・振り返る。	学④ 学⑧ 学⑬ 学⑱ 学㉓ 自② 自④ 自⑥ 自⑧ 自⑩	行動観察 ふり返しカード

9 本時の展開

(1) 本時目標

思考ツールを使ってこれまでの活動を整理し、今後の活動をまとめる。

(2) 本時の観点別評価規準

<小3・4年> 【学習方法】

◇思考ツールを使いながら、自他の考えを整理・分析する。

<小5・6年>

◇思考ツールを効果的に使いながら、自他の考えを整理・分析する。

<中1年>

◇思考ツールを効果的に使いながら、自他の考えを整理・分析する。

<中2年>

◇他者の考えを引き出ししながら、自他の考えを整理・分析する。

<中3年>

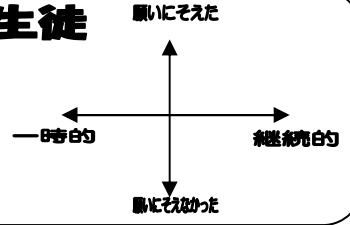
◇解決への見通しを立て、他者の考えを引き出ししながら、自他の考えを整理・分析する。

(3) 準備物

発表資料, 思考ツール, ふり返しカード

(4) 学習展開

		学習活動		○指導上の留意点 ☆個に応じた支援	◇評価規準 (評価方法) 【観点】<学年>
導入		小学生	中学生		
1		前時の振り返り ○中間発表の内容を振り返る。	1 前時の振り返り ○中間発表の内容を振り返る。		
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p><b>本時のめあて</b> 思考ツールを使って活動を整理し、今後の活動を考えてまとめる。</p> </div>					
2		発表内容の改善 ○小グループごとに活動をカードに記入する。	2 発表内容の改善 ○小グループごとに活動をカードに記入する。		

<p>展開</p>	<p>○メリット・デメリット表を使ってこれまでの活動を整理・分析する。</p>	<p>○座標軸を使ってこれまでの活動を整理・分析する。</p>	<p>○発達段階に応じて、思考ツールを活用させる。</p>	<p><b>【学習方法】</b>          &lt;小3・4年&gt;          ◇思考ツールを使いながら、自他の考えを整理・分析する。(ワークシート)          &lt;小5・6年&gt;          ◇思考ツールを効果的に使いながら、自他の考えを整理・分析する。(ワークシート)          &lt;中1年&gt;          ◇思考ツールを効果的に使いながら、自他の考えを整理・分析する。(ワークシート)          &lt;中2年&gt;          ◇他者の考えを引き出しながら、自他の考えを整理・分析する。(ワークシート)          &lt;中3年&gt;          ◇解決への見通しを立て、他者の考えを引き出しながら、自他の考えを整理・分析する。(ワークシート)</p>		
	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; text-align: center;"> <p><b>児童 生徒</b></p> <table border="1" style="display: inline-table; margin-right: 20px;"> <tr> <td style="padding: 5px;">願いにそえなかった</td> <td style="padding: 5px;">願いにそえた</td> </tr> <tr> <td style="width: 50px; height: 50px;"></td> <td style="width: 50px; height: 50px;"></td> </tr> </table>  </div>				願いにそえなかった	願いにそえた
願いにそえなかった	願いにそえた					
<p>―― じっくり考える場 ――</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p><b>【言語活動】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者の方の願いにそえたか、そえなかったかを考える。</li> <li>・可視化された課題への改善策を考える。</li> <li>・理由づけを行う。</li> </ul> </div>						
<p>3 話し合い ○今後の活動についての案を出す。</p> <p>4 交流 ○小学生，中学生，分かれて話し合ったことを交流する。</p> <p>○中学生の考えに対して意見を述べる。</p>	<p>3 話し合い ○今後の活動についての案を出す。</p> <p>4 交流 ○小学生，中学生，分かれて話し合ったことを交流する。</p> <p>○小学生の考えに対して意見を述べる。</p>	<p>☆発達段階に応じた言葉で解説する。</p> <p>○小学生は中学生の考えに対して，中学生は小学生の考えに対して意見を述べさせる。</p> <p>○ゲストティーチャーからも補足してもらおう。</p>				



まとめ	5 本時のまとめ ○リーダーのまとめを聞く。	5 本時のまとめ ○リーダーがまとめる。	○課題だけでなく肯定的意見も出させる。
	<p>期待する生徒のまとめ</p> <p>「課題を活かしてよりよいボランティアにしよう。」<u>「継続してかかわりをもとう。」</u>といった発言がある。</p> <p>(予想される課題例)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・楽しそうにしてくれたが、ちょっとの時間だった。</li> <li>・「楽しい」と言ってくれたが、実はしんどそうだった。</li> <li>・当日は笑顔だったが、その後疲れてしまっていた。</li> <li>・学校の授業として関わりを持ったが、それ以外で関わることができないのか。</li> </ul> <p>(予想される継続する取組例)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・定期的に、「よしわせせらぎ園」に行つて、会いに行く。</li> <li>・会いに行つて、「〇〇さん、元気ですか」等と声をかける。</li> <li>・介護についての方法を学ぶ。</li> <li>・家族や友人に学んだことを伝える。</li> <li>・高齢者とコミュニケーションがとれる場を設定する。</li> </ul>		

## 10 板書計画

総合的な学習の時間

～願いをもとにボランティア～

[めあて] 思考ツールを使って活動を整理し、今後の活動を考えてまとめる。

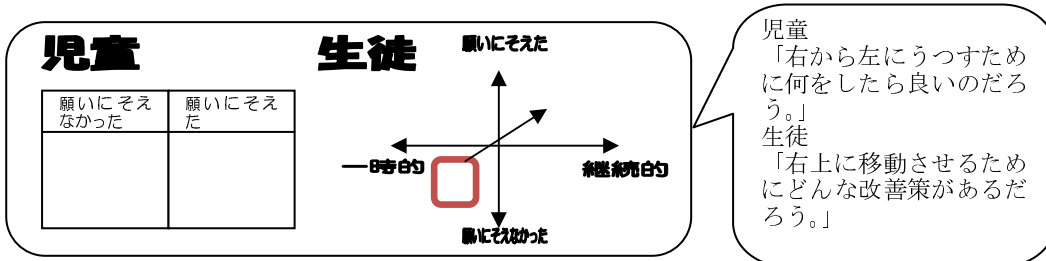
高齢者の方々に

グランドゴルフ  
茶話会  
交流  
名前を呼ぶこと

をしたら

笑顔になる  
名前でも呼んでもらえる  
「楽しかった」と言ってもらえる

◇今までの授業でした活動を紙に書き出そう。例 名札を作る・訪問・話……



[まとめ] 今後の活動 ○〇をしていく。等